



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 CFO (兼) (氏名) 佐々木 宗俊 TEL 03-5793-8411
 財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満四捨五入

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 79,849 | △25.6 | 663 | △83.6 | 961 | △73.8 | 1,576 | △41.4 |
| 2020年3月期第3四半期 | 107,288 | 2.8 | 4,039 | 57.9 | 3,667 | 100.7 | 2,692 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 2,457百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 43.45 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 73.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 87,969 | 32,332 | 33.9 | 824.96 |
| 2020年3月期 | 94,598 | 33,972 | 32.0 | 832.38 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,804百万円 2020年3月期 30,295百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 7.50 | — | 9.50 | 17.00 |
| 2021年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 2021年3月期 (予想) | — | — | — | 12.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 112,000 | △21.5 | 3,100 | △43.1 | 3,300 | △30.2 | 2,700 | 24.0 | 74.41 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1（社名）上海三櫻汽車管路有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 37,112,000株 | 2020年3月期 | 37,112,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 984,097株 | 2020年3月期 | 716,933株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 36,283,345株 | 2020年3月期3Q | 36,395,183株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は新型コロナウイルスの感染症拡大により個人消費や企業活動が制限され大幅な落ち込みを見せた後、一部の経済活動は徐々に回復に向かい復調の兆しもみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い回復は一服し、1月には再び一部の都府県において緊急事態宣言が発出されるなど先行き不透明な状況下にあります。米国では、外出制限により消費の記録的な落ち込みが上半期に見られましたが、消費や生産に持ち直しの動きが見られました。中国では、世界に先駆け経済活動を再開した結果、内需や輸出を中心に景気の回復が進みました。欧州は、3月から各国で実施された大規模なロックダウンや夜間外出禁止令がその後緩和され、経済活動が回復に向かったものの、感染症の再拡大を受けて経済活動の制限が再強化されるなど予断を許さない状況が続いております。アジアについても、感染症拡大が続く中で経済活動再開が徐々に進み、持ち直しの動きが見られたものの、依然として世界各国で先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下での当第3四半期連結会計期間末の財政状態及び当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルスの世界的な感染症拡大により、特に第2四半期連結累計期間までの各国でのロックダウン並びに顧客の稼働停止に伴うグループ各社での生産活動が大幅に低下した影響により、売上高は798億49百万円（前年同期比25.6%減）となりました。営業利益については、6億63百万円（前年同期比83.6%減）となり、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響等による販売減少を受け、前年同期比では大幅に減少しましたが、2020年7月以降は各地域の売上が回復したことに加え、構造改革を通じた固定費削減の効果により、第2四半期連結累計期間の24億80百万円の営業損失からは大幅に回復いたしました。経常利益についても、9億61百万円（前年同期比73.8%減）となり、前年同期比では減少するも、営業利益が大幅に回復し、政府補助金制度の活用による助成金の計上もあり、第2四半期連結累計期間の23億87百万円の経常損失からは大幅に回復しました。また、投資有価証券売却益12億47百万円及び受取保険金7億95百万円等による特別利益の計上により15億76百万円（前年同期比41.4%減）の親会社株主に帰属する四半期純利益となり、前年同期比では減少するも、第2四半期連結累計期間の11億37百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失から大幅に業績は回復いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 日本

売上高は新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う顧客の操業停止の影響により、198億30百万円（前年同期比25.4%減）と減収となりました。利益面については、1億32百万円の営業損失（前年同期は営業利益21億32百万円）が残るものの、2020年7月以降は売上が回復傾向にあり、固定費削減、人員配置の転換等施策効果が現れたことにより、第2四半期対比で大幅な業績回復となりました。

② 北南米

売上高は219億56百万円（前年同期比30.4%減）と主に新型コロナウイルスの感染症拡大による2020年4月から6月にかけての生産停止の影響で大幅減収となりました。また売上減少の影響により3億87百万円の営業損失（前年同期は営業利益7億19百万円）となりましたが、2020年7月以降の売上の回復に加え、固定費削減施策の効果もあり、第2四半期の営業損失9億54百万円から損失額は大幅に減少しました。

③ 欧州

新型コロナウイルスの感染症拡大による経済縮小の影響を受け、売上高は146億14百万円（前年同期比25.6%減）となりました。2020年7月以降ロックダウンの段階的な解除後生産は回復傾向にあり、前年より実施している構造改革の効果、時短勤務、政府補助金制度の活用を含めた固定費削減が寄与し、営業利益は3億51百万円となり、前年同期の営業損失3億20百万円から営業黒字への転換を図ることができました。

④ 中国

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、春節休暇後は一時的に操業を停止したものの、2020年4月以降は持ち直し、売上高は135億26百万円（前年同期比2.2%増）となり他地域に先んじて力強い回復が継続しております。固定費削減策、政府補助制度の申請等を含めた施策も貢献し、営業利益は7億77百万円（前年同期比148.8%増）と増益となりました。

⑤ アジア

新型コロナウイルスの感染症拡大による客先減産の影響等を受け、売上高は99億24百万円（前年同期比39.0%減）と大幅減収となりました。2020年7月以降の生産は回復傾向にあり、固定費削減、構造改革効果と併せ、営業利益は2億円（前年同期比86.5%減）となり、第2四半期の営業損失87百万円より業績は回復いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は879億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて66億30百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少16億75百万円、製品の減少5億55百万円、仕掛品の減少3億72百万円、機械装置及び運搬具等の有形固定資産の減少28億57百万円、投資有価証券の減少10億76百万円等であり、負債合計は556億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて49億90百万円減少しました。主な要因は短期借入金の減少21億74百万円、長期借入金の減少16億43百万円、未払法人税等の減少4億30百万円、退職給付に係る負債の減少4億8百万円等であり、純資産は323億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億40百万円減少しました。主な要因は為替換算調整勘定の減少19億46百万円、利益剰余金の増加11億21百万円、非支配株主持分の減少11億49百万円及びその他有価証券評価差額金の増加4億2百万円等であり、

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により38億58百万円増加、投資活動により8億50百万円増加、財務活動により56億73百万円減少などの結果、当第3四半期連結会計期間末は142億42百万円（前連結会計年度末比16億75百万円の減少）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益28億87百万円（前年同期は51億45百万円）、減価償却費37億24百万円（前年同期は39億10百万円）、売上債権の増加16億67百万円（前年同期は13億37百万円の増加）、たな卸資産の増加4億70百万円（前年同期は6億27百万円の減少）、仕入債務の増加6億83百万円（前年同期は7億89百万円の減少）、法人税等の支払額12億61百万円（前年同期は7億49百万円の支払）により、前年同期と比較して11億40百万円減少し、38億58百万円の資金増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られたキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出23億77百万円（前年同期は58億68百万円の支出）、投資有価証券の売却による収入29億57百万円（前年同期は発生なし）などにより、8億50百万円の収入（前年同期は30億47百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用されたキャッシュ・フローは、短期借入金の減少による支出20億16百万円（前年同期は14億32百万円の支出）、長期借入れによる収入11億72百万円（前年同期は11億12百万円の収入）、長期借入金返済による支出29億21百万円（前年同期は14億86百万円の支出）、配当金の支払による支出4億55百万円（前年同期は7億28百万円の支出）、非支配株主への配当金の支払による支出10億12百万円（前年同期は9億8百万円の支出）などにより、56億73百万円の支出（前年同期は36億67百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月10日に公表した2021年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年2月12日発表の「2021年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,917 | 14,242 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,068 | 18,993 |
| 電子記録債権 | 392 | 399 |
| 製品 | 3,802 | 3,247 |
| 仕掛品 | 4,726 | 4,354 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,976 | 9,085 |
| その他 | 1,935 | 1,480 |
| 貸倒引当金 | △13 | △8 |
| 流動資産合計 | 53,802 | 51,793 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 17,776 | 17,299 |
| 機械装置及び運搬具 | 71,263 | 69,504 |
| 工具、器具及び備品 | 12,640 | 12,213 |
| 土地 | 2,813 | 2,546 |
| リース資産 | 2,531 | 2,287 |
| 建設仮勘定 | 3,896 | 3,642 |
| 減価償却累計額 | △68,730 | △69,194 |
| 減損損失累計額 | △10,373 | △9,338 |
| 有形固定資産合計 | 31,816 | 28,959 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 6 | 3 |
| その他 | 196 | 159 |
| 無形固定資産合計 | 202 | 162 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,360 | 5,284 |
| 長期貸付金 | 2 | 1 |
| 繰延税金資産 | 1,718 | 1,116 |
| その他 | 698 | 653 |
| 投資その他の資産合計 | 8,778 | 7,055 |
| 固定資産合計 | 40,796 | 36,176 |
| 資産合計 | 94,598 | 87,969 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,897 | 8,729 |
| 電子記録債務 | 4,521 | 4,458 |
| 短期借入金 | 18,081 | 15,908 |
| 未払金 | 2,465 | 2,156 |
| リース債務 | 339 | 314 |
| 未払法人税等 | 803 | 372 |
| 未払消費税等 | 818 | 526 |
| 賞与引当金 | 1,195 | 987 |
| 役員賞与引当金 | 16 | 13 |
| 製品保証引当金 | 983 | 915 |
| その他 | 2,923 | 4,178 |
| 流動負債合計 | 41,042 | 38,555 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,537 | 11,894 |
| 長期未払金 | 330 | — |
| リース債務 | 1,309 | 1,135 |
| 繰延税金負債 | 69 | 67 |
| 役員退職慰労引当金 | 164 | 164 |
| 退職給付に係る負債 | 4,099 | 3,691 |
| その他 | 75 | 131 |
| 固定負債合計 | 19,584 | 17,081 |
| 負債合計 | 60,626 | 55,636 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,481 | 3,481 |
| 資本剰余金 | 2,365 | 2,365 |
| 利益剰余金 | 27,090 | 28,211 |
| 自己株式 | △477 | △650 |
| 株主資本合計 | 32,458 | 33,407 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,671 | 2,073 |
| 為替換算調整勘定 | △3,331 | △5,277 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △504 | △400 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,164 | △3,603 |
| 非支配株主持分 | 3,678 | 2,528 |
| 純資産合計 | 33,972 | 32,332 |
| 負債純資産合計 | 94,598 | 87,969 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 107,288 | 79,849 |
| 売上原価 | 94,256 | 70,352 |
| 売上総利益 | 13,033 | 9,498 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,993 | 8,835 |
| 営業利益 | 4,039 | 663 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 88 | 49 |
| 受取配当金 | 233 | 137 |
| 助成金収入 | — | 672 |
| その他 | 471 | 299 |
| 営業外収益合計 | 791 | 1,157 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 352 | 382 |
| 為替差損 | 553 | 371 |
| その他 | 259 | 106 |
| 営業外費用合計 | 1,163 | 859 |
| 経常利益 | 3,667 | 961 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,937 | 19 |
| 投資有価証券売却益 | — | 1,247 |
| 受取保険金 | — | 795 |
| 特別利益合計 | 1,937 | 2,061 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5 | 39 |
| 固定資産除却損 | 71 | 48 |
| 減損損失 | 382 | — |
| 和解金 | — | 43 |
| その他 | — | 6 |
| 特別損失合計 | 459 | 135 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,145 | 2,887 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,200 | 850 |
| 法人税等調整額 | 666 | 299 |
| 法人税等合計 | 1,865 | 1,148 |
| 四半期純利益 | 3,280 | 1,738 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 588 | 162 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,692 | 1,576 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,280 | 1,738 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △16 | 402 |
| 為替換算調整勘定 | △797 | △2,245 |
| 退職給付に係る調整額 | △10 | 104 |
| その他の包括利益合計 | △823 | △1,739 |
| 四半期包括利益 | 2,457 | △1 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,766 | 137 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 691 | △137 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|---------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,145 | 2,887 |
| のれん償却額 | 2 | — |
| 減損損失 | 382 | — |
| 減価償却費 | 3,910 | 3,724 |
| 有形固定資産除却損 | 71 | 48 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △1,932 | 19 |
| 受取利息及び受取配当金 | △320 | △186 |
| 支払利息 | 352 | 382 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △1,242 |
| 受取保険金 | — | △795 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,337 | △1,667 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 627 | △470 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △789 | 683 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △123 | △176 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △446 | 35 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 426 | 800 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △97 | △213 |
| 長期未払金の増減額 (△は減少) | △388 | △330 |
| その他 | 1,529 | 1,052 |
| 小計 | 7,013 | 4,551 |
| 和解金の支払額 | △1,221 | — |
| 利息及び配当金の受取額 | 321 | 186 |
| 利息の支払額 | △367 | △414 |
| 法人税等の支払額 | △749 | △1,261 |
| 保険金の受取額 | — | 795 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,998 | 3,858 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,868 | △2,377 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,092 | 355 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △23 | △67 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 2,957 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による支出 | — | △63 |
| その他 | △247 | 44 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,047 | 850 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △1,432 | △2,016 |
| 長期借入れによる収入 | 1,112 | 1,172 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,486 | △2,921 |
| 配当金の支払額 | △728 | △455 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △908 | △1,012 |
| リース債務の返済による支出 | △226 | △268 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △172 |
| その他 | △0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,667 | △5,673 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △166 | △709 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,881 | △1,675 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,505 | 15,917 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,623 | 14,242 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

2. 取締役向け株式交付信託

当社は、2020年6月22日開催の第112期定時株主総会決議に基づき、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として当社の取締役のうち受益者要件を満たす者を対象に、当社株式を用いた株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入しております。なお、本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、各取締役に対して、当社の定める取締役向け株式交付規程に従って各取締役に付与されるポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて交付される株式報酬制度であります。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、99百万円及び153,700株であります。

3. 従業員向け株式交付信託

当社は、2020年8月27日の取締役会決議に基づき、当社従業員（取締役兼務者を除く当社執行役員及びその他所定の職位を有する者）のうち受益者の要件を満たす者を対象に、当社株式を用いた従業員向け株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

なお、本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、各従業員に対して、当社の定める株式交付規程に従って各従業員に付与されるポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて交付される株式報酬制度であります。なお、従業員が当社株式の交付を受ける時期は、原則として従業員の退職時であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、73百万円及び113,300株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|------------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 26,589 | 31,559 | 19,638 | 13,240 | 16,263 | 107,288 | — | 107,288 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 14,729 | 218 | 61 | 1,302 | 564 | 16,873 | △16,873 | — |
| 計 | 41,318 | 31,777 | 19,699 | 14,541 | 16,827 | 124,161 | △16,873 | 107,288 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 2,132 | 719 | △320 | 312 | 1,479 | 4,322 | △283 | 4,039 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△16,873百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△283百万円には、のれんの償却額△2百万円、たな卸資産の調整額△159百万円及び固定資産に係る調整額△121百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて247百万円、「欧州」セグメントにおいて135百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|------------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 19,830 | 21,956 | 14,614 | 13,526 | 9,924 | 79,849 | — | 79,849 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 11,579 | 94 | 53 | 582 | 403 | 12,711 | △12,711 | — |
| 計 | 31,409 | 22,050 | 14,667 | 14,107 | 10,327 | 92,560 | △12,711 | 79,849 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △132 | △387 | 351 | 777 | 200 | 809 | △146 | 663 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△12,711百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△146百万円には、たな卸資産の調整額△85百万円及び固定資産に係る調整額△61百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。